



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

**【対象となる方】**

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で  
薬剤抵抗性てんかんと診断された方

**【研究課題名】**

興奮性シナプスの制御異常がもたらすヒトてんかん及びPTSDに関する研究開発

**【研究責任者】**

林 崇（産業技術総合研究所）

**【本研究の目的及び意義】**

国立精神・神経医療研究センター病院における薬剤抵抗性てんかん患者の外科治療によって得られた脳試料検体を使って、大脳の興奮性シナプスの中心的機能分子であるグルタミン酸受容体の修飾異常とヒトてんかんの相関性を明らかにする。

**【本研究に提供している試料・情報】**

脳

年齢、性別、切除部位、病歴、薬歴、併発疾患

**【研究期間】**

2021年9月15日～2021年12月31日

2021年10月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520

E-mail : biobank※ncnp.go.jp(※を@に変更ください)